

第38回全国高等学校体操競技選抜大会参加資格者一覧表（男子）

令和3年12月28日 現在

1班（午前に競技）						
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説	
1	藤崎 飛向	1	大阪	清風	※No.1～No.8は、No.51～60に 続く8名。 手順② 1・2年生を上位（No51） から並べ、下位に3年生を並 び替える。	
2	梅尾 健琉	2	埼玉	埼玉栄		
3	浅野 力	1	岐阜	大垣商業		
4	山口 雄大	2	愛媛	新田		
5	野田 漣音	1	福井	鯖江		
6	前田 創汰	2	京都	洛南		
7	三戸 悠矢	2	埼玉	埼玉栄		
8	表 幸澄	1	京都	洛南		
9	中林 凌牙	2	北海道	帯広大谷	※プロック枠Aはプロック 1位の都道府県 手順④	
10	新関 愛翔	2	山形	庄内総合		
11	田村 新之輔	2	千葉	市立船橋		
12	鈴木 琉偉	2	福井	鯖江		
13	西村 尚純	1	三重	暁		
14	鮫ヶ井 衛	2	大阪	太成学院大学		
15	中村 隆太郎	1	岡山	関西		
16	高久保 光貴	1	愛媛	新田		
17	佐藤 洋輝	2	福岡	九州国際大学付属		
18	橋本 大輔	2	北海道	諒農学園大学附属とわの森	※プロック枠B（普及枠） は参加できる都道府県を増やす よう配慮	
19	佐々木虎太郎	2	青森	青森山田		
20	山田 雄大	2	群馬	高崎工業		
21	大野木 拓	2	石川	小松大谷	※各プロックの判断によ り、1枠を種目別出場に替 えることも可能	
22	中村 貴太	2	愛知	名城大学附属	手順⑤	
23	前尾 健友	2	兵庫	尼崎市立尼崎		
24	川野 純茂	2	広島	崇徳		
25	木下 桜	2	徳島	県立小松島		
26	山崎 成	1	長崎	創成館		
27	溝川 凱理	1	和歌山	県立田辺工業	※1 高校総体1位の県のプロック 手順⑥	
28	今村 健太朗	1	東京	日体大荏原	※2 手順⑦	
29	安部 咲太郎	1	茨城	茗溪学園	協会推薦	
30	松本 尚大	1	熊本	熊本学園大付属	開催都道府県	

※1 参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

※2 日本体操協会推薦選手としてNo.28～No.29に2名の出場権を与え、2班で抽選する。

但し、推薦選手がいない場合には全国総体チーム成績2位、3位の県のプロックに各1枠を配分し、1班で抽選する。

このプロック枠も参加できる都道府県を増やすように配慮すること。

協会推薦があった場合、順次、資格No.28・29とNo.59・60と交替して、協会推薦選手を2班で抽選する。

2班（午後に競技）						
No.	選手名	学年	都道府県	学校名	解説	
31	谷田 雅治	2	栃木	作新学院	※No.31～No.42は、全国高校 総体個人総合成績1・2年生上 位12名 手順①	
32	戎 燿汰	2	大阪	清風		
33	須永 光輝	2	千葉	市立船橋		
34	岸田 匠玄	2	京都	洛南		
35	中濱 太一	2	埼玉	県立ふじみ野		
36	小野 凉城	2	栃木	作新学院		
37	神山 遥人	1	宮城	仙台大明成		
38	前田 憲伸	2	東京	駒大高		
39	荻野 英之助	2	千葉	市立習志野		
40	高橋 龍馬	2	宮城	仙台大明成		
41	岩崎 大翔	2	埼玉	埼玉栄		
42	井上 聖也	2	京都	洛南		
43	石橋 祐輔	2	大阪	清風	※No.43～No.50は、全国高校 総体チーム選手権上位8チー ムの都道府県 手順③	
44	山崎 真颯	2	千葉	市立船橋		
45	杉山 誠将	2	栃木	作新学院		
46	鈴木 一太	1	宮城	仙台大明成		
47	坂井 遥翔	2	埼玉	埼玉栄		
48	高崎 翔太	2	京都	洛南		
49	野津 侑矢	1	福井	鯖江		
50	脇原 和志	1	岡山	関西		
51	川口 碧雪	1	大阪	大阪体育大学浪商	※No.51～No.60は、全国高校 総体個人の1・2年生上位12名 を除く、10名。但し、1・2年 生は本人、3年生は都道府県 手順②	
52	小田切 伊織	2	神奈川	慶應義塾		
53	金田 麟斗	1	千葉	市立船橋		
54	後藤 隼星	2	千葉	市立船橋		
55	三ツ石 冬弥	2	大阪	大阪体育大学浪商	1・2年生を上位（No51） から並べ、下位に3年生を並 び替える。	
56	鈴木 良音	2	千葉	市立船橋		
57	百合草 建紀	2	宮城	仙台大明成		
58	長渡 士門	1	大阪	清風		
59	細田 遼	2	福井	鯖江		
60	田村 優	2	東京	松蔭		